



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社早稲田アカデミー

上場取引所 東

コード番号 4718 URL <https://www.waseda-ac.co.jp/corp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 河野 陽子

TEL 03-3590-4011

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,560	0.8	772	27.8	793	25.6	399	46.3
2020年3月期第3四半期	18,420	5.2	1,069	8.5	1,067	6.7	743	24.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 323百万円 (65.7%) 2020年3月期第3四半期 944百万円 (95.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	25.18	
2020年3月期第3四半期	46.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,357	8,260	45.0
2020年3月期	15,324	8,242	53.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,260百万円 2020年3月期 8,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.00		15.00	20.00
2021年3月期		5.00			
2021年3月期(予想)				15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,186	2.3	581	50.2	582	49.9	238	69.1	15.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	16,669,952 株	2020年3月期	16,669,952 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	812,834 株	2020年3月期	827,134 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	15,852,700 株	2020年3月期3Q	15,842,846 株

(注)2021年3月期第3四半期及び2020年3月期の「期末自己株式数」には、役員報酬BIP信託が所有する当社株式が含まれております(2021年3月期第3四半期80,300株、2020年3月期94,600株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(その他の注記情報)	8
3. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じつつ社会経済活動が段階的に引き上げられる中で、各種施策による効果もあり、回復への兆しが見られました。しかしながら、再び新規感染者数が大きく増加することとなり、先行き不透明な厳しい状況が続いております。

教育サービス業界におきましては、新たに開始された「大学入学共通テスト」や小学校での英語教科化等の教育制度改革への対応に加え、コロナ禍により、継続的な“学び”を提供できる新たな教育コンテンツや指導システムが強く求められております。そのようなご要望に対し、オンライン教育サービスやICTを活用した教育コンテンツの提供など、社会環境の変化と生徒・保護者の皆様のニーズに応える教育サービスの開発と提供が急速に進んでおります。

このような状況下、当社グループにおきましては、生徒・保護者の皆様と従業員の安全・安心を第一とし、質の高い学習環境を継続的に提供することに全力で取り組んでまいりました。緊急事態宣言発令に伴う学校の長期休校により、学習進度や受験準備が遅れることに対して不安を抱える生徒・保護者の皆様のお気持ちに寄り添い、各ご家庭の希望にできる限り応えるべく、6月から「対面授業」と「双方向Web授業」のいずれかを選択できるデュアル形式のサービス提供を継続してまいりました。

また、夏期・冬期講習会につきましても、小中学校の休暇日程短縮に対応した時間割編成により授業時間の確保を図るとともに、正月特訓においても感染防止対策を徹底した上でデュアル形式の授業を提供し、受験直前期の学習機会の確保と志望校合格に向けた指導に注力いたしました。

更に、ICTを活用した教育コンテンツとして、5月より提供開始した各種模擬試験等を自宅で受験できる受験サポートアプリ「早稲田アカデミーEAST」（ご家庭で受験した解答用紙をスマートフォンやタブレットで簡単にアップロードして提出できるシステム）の機能拡充を図るとともに、11月には、1回の認証（ログイン）を行うだけで早稲田アカデミーの様々なWebサービスにアクセスできる機能として「早稲田アカデミーOnline」サービスを開始いたしました。本サービスの提供開始により、オンデマンド授業映像の視聴、Web帳票閲覧、家庭学習用Web教材の利用等、当社が提供するWebサービスを安全かつよりスムーズにご利用いただけるようになりました。

教務面では、他社に先駆けて英語教育改革に対応するための新たな講座として、受験に対応した英語4技能の習得を目標とするオンライン英語学習サービスを開始、中学受験で最難関校を目指す低学年向けの映像コンテンツの開発を進めてまいりました。更に、難関校対策特別コースの拡充を行う等、合格実績の更なる伸長に向けた取り組みにも注力いたしました。

中長期の業容拡大に向けた重要課題である「人材育成」に関しては、新人講師の早期育成を図るための研修の充実と強化、映像を活用した研修の拡充、事務職員の研修体制の見直し等、より効果的な従業員教育の実施に向けて、研修体系の再構築に取り組んでまいりました。

国内の子会社各社におきましても、感染防止対策を徹底し、質の高い授業サービスの提供に努めてきた結果、収益回復に向けて堅調に推移しております。海外子会社2社におきましても、コロナ禍により外出制限が続く中、双方向Web授業による継続的な指導に注力しており、ニューヨーク校・ロンドン校ともに、塾生数は前年同期を上回り堅調に推移しております。

当第3四半期連結累計期間における期中平均塾生数（4～12月の9か月平均）は、小学部21,074人（前年同期比1.7%増）、中学部14,871人（前年同期比3.8%減）、高校部2,662人（前年同期比18.2%減）、合計で38,607人（前年同期比2.1%減）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、4月には全学部合計の塾生数が前年同期比7.6%減という厳しい状況でのスタートとなりましたが、継続的かつ高品質な学習環境の提供に全力で取り組んできたことにより、四半期毎の塾生数（全学部合計の期中平均）は、第1四半期連結会計期間（4～6月）が前年同期比5.3%減、第2四半期連結会計期間（7～9月）が前年同期比1.6%減、当第3四半期連結会計期間（10～12月）が前年同期比0.4%増と順調に回復を続けてまいりました。中でも小学部は、12月単月で前年同期比5.2%増と大きく伸長し、全体を牽引しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高18,560百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益772百万円（前年同期比27.8%減）、経常利益793百万円（前年同期比25.6%減）、緊急雇用安定助成金を特別利益に、新型コロナウイルス感染防止のために休講した期間の固定費等を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は399百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

また、第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業は報告セグメントを単一セグメントに変更しておりますので、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、18,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,033百万円増加いたしました。増加の要因は、流動資産3,395百万円の増加と固定資産361百万円の減少によるものであります。流動資産の増加の内訳は、現金及び預金2,010百万円、営業未収入金1,115百万円の増加等であります。また、固定資産の減少の内訳は、有形固定資産118百万円、無形固定資産160百万円、投資その他の資産83百万円の減少であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債総額は、10,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,016百万円増加いたしました。増加の要因は、流動負債3,065百万円の増加と固定負債48百万円の減少によるものであります。流動負債の増加の内訳は、支払手形及び買掛金469百万円、短期借入金2,000百万円、前受金544百万円の増加等であります。また、固定負債の減少の内訳は、長期借入金136百万円の減少と、リース債務51百万円の増加等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産額は、8,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。その要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益399百万円と、配当金の支払318百万円、その他有価証券評価差額金72百万円の減少等であります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.8%から45.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、第3四半期連結累計期間の業績が順調に推移していることに加え、1月の緊急事態宣言発令後も、新規問い合わせ者数や入塾手続きは堅調に推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大が懸念される中、今後の業績等への影響が不透明な状況にあることを踏まえ、通期業績予想につきましては、2020年12月10日に公表した予想数値から変更はございません。

引き続き、生徒・保護者の皆様と従業員の方々の安全・安心を第一に、継続的かつ高品質な教育サービスの提供に注力してまいります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,894,763	3,905,552
営業未収入金	1,438,903	2,554,825
商品及び製品	257,327	431,445
原材料及び貯蔵品	66,833	118,068
前払費用	419,143	457,619
その他	25,263	23,600
貸倒引当金	△17,166	△10,316
流動資産合計	4,085,070	7,480,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,165,542	7,293,429
減価償却累計額	△3,936,947	△4,159,008
建物及び構築物 (純額)	3,228,595	3,134,420
土地	1,240,831	1,141,281
リース資産	1,623,257	1,681,490
減価償却累計額	△939,188	△908,686
リース資産 (純額)	684,068	772,803
建設仮勘定	27,996	855
その他	790,963	851,322
減価償却累計額	△602,597	△649,076
その他 (純額)	188,365	202,246
有形固定資産合計	5,369,857	5,251,607
無形固定資産		
ソフトウェア	531,366	489,907
ソフトウェア仮勘定	29,672	957
のれん	963,155	871,450
その他	43,833	45,207
無形固定資産合計	1,568,028	1,407,521
投資その他の資産		
投資有価証券	989,772	884,910
繰延税金資産	557,330	510,403
差入保証金	2,589,331	2,654,706
その他	182,208	178,643
貸倒引当金	△17,598	△10,800
投資その他の資産合計	4,301,044	4,217,863
固定資産合計	11,238,931	10,876,992
資産合計	15,324,002	18,357,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	163,782	633,591
短期借入金	—	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	63,864	57,372
未払金	731,187	777,516
未払費用	850,043	1,016,980
リース債務	211,366	246,796
未払法人税等	296,720	146,449
未払消費税等	273,117	344,706
前受金	803,882	1,348,082
賞与引当金	432,567	228,152
役員株式給付引当金	12,465	—
その他	74,564	178,926
流動負債合計	3,913,561	6,978,572
固定負債		
長期借入金	464,500	328,259
リース債務	489,847	541,017
退職給付に係る負債	943,849	965,001
資産除去債務	1,243,328	1,269,595
その他	26,075	14,791
固定負債合計	3,167,600	3,118,664
負債合計	7,081,162	10,097,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	968,749	968,749
資本剰余金	917,698	917,698
利益剰余金	6,661,786	6,742,131
自己株式	△682,718	△670,252
株主資本合計	7,865,515	7,958,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366,997	294,086
為替換算調整勘定	△4,173	△6,211
退職給付に係る調整累計額	14,500	14,348
その他の包括利益累計額合計	377,324	302,222
非支配株主持分	—	—
純資産合計	8,242,840	8,260,549
負債純資産合計	15,324,002	18,357,787

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	18,420,243	18,560,771
売上原価	13,219,473	13,775,909
売上総利益	5,200,769	4,784,861
販売費及び一般管理費	4,131,626	4,012,565
営業利益	1,069,143	772,295
営業外収益		
受取利息	67	63
受取配当金	20,379	19,541
債務消滅益	—	10,941
その他	15,942	20,052
営業外収益合計	36,389	50,599
営業外費用		
支払利息	12,652	15,142
固定資産除却損	19,189	3,885
賃貸借契約違約金	4,846	—
その他	1,798	9,981
営業外費用合計	38,486	29,009
経常利益	1,067,047	793,885
特別利益		
固定資産売却益	220,462	—
助成金収入	—	※1 20,348
特別利益合計	220,462	20,348
特別損失		
固定資産売却損	7,137	—
減損損失	88,096	17,244
新型コロナウイルス感染症による損失	—	※2 98,025
特別損失合計	95,233	115,270
税金等調整前四半期純利益	1,192,276	698,964
法人税、住民税及び事業税	351,092	220,950
法人税等調整額	97,400	78,919
法人税等合計	448,492	299,870
四半期純利益	743,784	399,094
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	743,784	399,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190,384	△72,911
為替換算調整勘定	△1,591	△2,038
退職給付に係る調整額	12,095	△152
その他の包括利益合計	200,888	△75,101
四半期包括利益	944,672	323,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	944,672	323,992
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは「教育関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは従来、「教育関連事業」・「不動産賃貸」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「教育関連事業」の単一セグメントに変更しております。この変更は、前連結会計年度において、当社グループが保有していた賃貸用不動産物件の大部分を売却したことにより、不動産賃貸事業の重要性が乏しくなったことから、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したためであります。この変更により、「教育関連事業」の単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

（その他の注記情報）

（四半期連結損益及び包括利益計算書関係）

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

※1 助成金収入

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、政府や自治体からの休業要請を受け、一部校舎において休講いたしました。その期間に支給した休業手当に係る緊急雇用安定助成金であります。

※2 新型コロナウイルス感染症による損失

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、政府や自治体からの休業要請を受け、一部校舎において休講し、その期間中に発生した固定費（労務費、地代家賃、減価償却費）等であります。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
減価償却費	632,835千円	678,959千円
のれんの償却額	95,428	97,862

3. 補足情報

（1）生産、受注及び販売の状況

①生産及び受注の状況

当社グループは、生徒に対して授業を行うことを主たる業務としておりますので、生産能力として表示すべき適当な指標はありません。また、受注実績につきましても、該当事項はありません。

②販売実績

品目別の販売実績は次のとおりであります。

なお、当社グループは第1四半期連結会計期間より、教育関連事業の単一セグメントへ変更いたしました。この変更により、販売実績を「報告セグメント別」から「教育関連事業の品目別」へ変更しております。

品目	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）		当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）		比較増減
	生徒数（人）	金額（千円）	生徒数（人）	金額（千円）	金額（千円）
小学部	20,726	9,641,658	21,074	10,114,006	472,347
中学部	15,464	7,021,388	14,871	7,012,383	△9,004
高校部	3,255	1,623,139	2,662	1,271,876	△351,263
その他	—	96,710	—	162,505	65,794
合計	39,445	18,382,896	38,607	18,560,771	177,874

（注）1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 生徒数は、期中平均（4～12月の平均）の在籍人数を記載しております。